

令和7年度 都農町立都農東小学校・内野々分校 自己評価書

学校経営ビジョン	○自分で考えて行動する子	○自他を大切にする子
	○チャレンジする子	○地域とともにある学校

【評価基準 4段階評価 4:期待以上 3:期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

重点指導項目	方法・手立て	評価内容	自己評価		学校自己評価コメントのよさ→○、改善点→△ 学校運営協議会委員の評価→□	
			児童 職員 保護者	総合		
自律	①「わかる・できる」授業の実践・改善(学)	・授業改善に向けた職員研修の充実 ・学力タイム等の取組	児:授業は、わかりやすいですか。 職:子どもが主体的に参加できる「わかる・できる」授業をしているか。 保:子どもは、授業が分かりやすいと知っているか。	3.6 2.7 3.1	3.1	①○教師が授業の導入の工夫をし、児童に学ぶ意欲を高めることができた。 △教師主導の学習になっている部分がある。教師が中間層より下の児童に合わせて指導をしている。 学力タイムでは、基礎・基本の定着(読み書き計算)を継続して行った方がよい。 ②○きまりを守るための手立てをとったことで、きまりを守る児童が多くなった。 △一部のまだできていない児童のためにより細かい手立てを講じている。 ③○大きなけがは少ないが、ケガにつながるような行動は度々見られる。(廊下歩行・椅子の座り方) ○避難訓練は充実していた。実際の大雨時の引き渡しもスムーズに行うことができた。 △具体的な事例を出して、危険性を教える。(集会等) <u>学校運営協議会総評</u> □学校は1人1人に向きあって指導できている。 □子どもたちの発言・行動を促す指導はできている。 □全体的に児童の評価は良くて先生や保護者の評価が低い傾向にある。
	②規範と交通安全に対する意識の高揚(生)	・規範意識の向上 ・交通安全に対する意識の向上	児:学校や家で様々なきまりを守っていますか。 職:児童がきまりを守るような手立てをとっているか。 保:子どもは、学校内外のきまりを守っているか。	3.3 3.0 3.0		
	③安全・防災教育の更なる充実(保)	・安全に対する意識の向上 ・防災教育の充実	児:学校では、安全に気を付けて生活をしていますか。 職:子どもの危険予知・回避能力を育てているか。 保:子どもは、学校で安全に生活をしているか。	3.6 2.6 3.1		
尊重	④人権(いのちの)教育、 道徳教育の充実(生)	・相手を大切にできる意識づけ ・道徳教育の実践	児:相手の気持ちを大切にできる言葉遣いや行動をしていますか。 職:相手の気持ちを大切にできる言葉遣いや行動を促すような手立てをとっているか。 保:子どもは相手を大切にできる言葉遣いや行動をしていますか。	3.3 2.8 2.7	3.1	④△繰り返し指導しているが、よくなる。道徳の時間や学級活動の時間も活用している。夏休みの面談で保護者にもアンケートを通して協力してもらったが、保護者の更なる意識改革も必要かと思う。 PTA 総会や家庭教育学級等で話題にしたい。 ⑤○アンケートや相談タイムで児童の話聞くことができ、児童も話を聞いてくれていると感じている。 ⑥○スクールカウンセラーとの全員面談を目指したので、児童の満足度は高い。困った時はいろいろな先生に相談できることが分かったようである。 <u>学校運営協議会総評</u> □相手の気持ちを大切にすることの第一歩は言葉遣いや話し方だと思う。成果は出なくても粘り強く指導すべき。
	⑤特別支援教育の充実(生)	・教育支援委員会を含めた組織体制の充実 ・個に応じた教育の充実	児:先生は、自分の話を聞いてくれますか。 職:子ども一人一人に合わせた関わり方をしているか。 保:学校は、子ども一人一人に合わせた関わり方をしているか。	3.7 3.2 3.2		
	⑥外部との連携を含めた 組織的取組の推進(生)	・SSWやSCとの連携 ・あすなろ会での共通理解	児:学校では、担任の先生をはじめ、いろいろな先生に相談できますか。 職:児童の実態について共通理解ができ、必要に応じて専門機関と連携を図っているか。 保:学校は、困ったときに相談に応じてくれているか。	3.3 3.2 2.8		
挑戦	⑦基礎体力の維持・向上 に向けた取組の工夫改善(保)	・体育の時間の指導法の工夫 ・朝の体育活動の取組	児:昼休みや体育の時間にしっかり運動をしていますか。 職:体力向上プランを元に、上体起こしや走力の向上が図られているか。 保:子どもは、学校で進んで運動をしているか。	3.6 2.9 2.7	2.8	⑦○年度当初に体育の時間の最後に50mを走ることを提案したが時間が足りなかった。 △体育の初めの準備運動の中で取り組む。(運動場に出たら50m走を1本走る。) △児童保健委員会の昼休みの縦割班遊びの回数を増やす。次年度はラジオ体操を取り組む。 ○朝の体育活動の取組:各学級でよく取り組んでいた。 ⑧○児童が主体的に行動できるように声かけ・賞賛を行った。 △更に児童が主体的に行動できるような手立ての工夫が必要である。 ⑨△毎週水曜日の親子読書を取組む家庭が少ない。おすすめの本紹介は、保護者にも協力をお願いしたが、提出率が低かったため、今後は工夫が必要である。 △次年度は、学校で読書タイムの設定をして読書の機会を増やす。 <u>学校運営協議会総評</u> □挑戦の評価も児童は高いのに先生と保護者は低い。 □読書活動の設定が難しい。幼少期からデジタルではなく絵本の読み聞かせなど本に触れる機会を設けるべき。 □けがを予知できる考えをもつことは必要。
	⑧児童の主体性を促す活動 の工夫と学校環境の 整備(生)	・児童主体の児童会活動の実施 ・清掃活動の充実	児:自分で考えて行動をしていますか。 職:児童が主体的に行動できるように手立てをとっているか。 保:子どもは自分で考えて行動しているか。	3.3 2.7 2.7		
	⑨読書活動の充実・推進(学)	・図書室の積極的活用 ・読書月間の実施	児:学校や家で本をよく読んでいますか。 職:読書への関心を高め、様々な分野の本に親しませているか。 保:子どもは、学校で読書をよくしているか。	2.7 2.7 2.2		
協働	⑩保護者との連携協働	・保護者やPTA役員との積極的な情報交換と運営	職:保護者やPTA役員との連携を密に図っていますか。 保:学校は、保護者と力を合わせることができていますか。	3.1 3.1	2.9	⑩○PTA三役との対話を密にもち、学校行事ごとにアンケートをとり、全保護者の意見を伺えるように意識している。 △保護者の意見をどこまで反映させ、どこまで学校側の意見、学校の思いを理解したうえで協力していただけるかが課題である。 ⑪○第2回の学校運営協議会で全職員参加の熟議を行うことができた。 △校外学習を始め地域や地域の人材を活用して授業を行えているが、保護者を地域人材として授業に招くことも視野に入れたい。 ⑫○月1回の学校だよりの発行、ホームページの定期的な更新、テトルを使った発信で保護者に学校の情報を発信することができた。 <u>学校運営協議会総評</u> □校外学習の充実 □地域人材の活用 地域人材を活用した課外授業などの実施 □保護者と地域との積極的な意見交換
	⑪学校運営協議会の充実	・充実した熟議の時間と内容の設定 ・意見をもとにした学校運営へのフィードバック	職:熟議における協議内容を共通理解しているか。 保:学校は、地域との連携が図られているか。	2.8 2.9		
	⑫積極的な情報の発信	・文書の配付やホームページ等による情報発信	職:教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信しているか。 保:学校は、教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信しているか。	3.3 3.2		
	⑬自己肯定感(児童のみ)		・自分にはよいところがあると思いますか。 ・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	3.1 3.5	3.3	⑬○日常的に子どもたちのよさを認め、伸ばしていこうとする丁寧な指導が効果を表している。 △今後とも、教育相談の時間を効果的に活用するなど、様々な場面で子どもたちのよさを認め、学校全体が温かい雰囲気となるように継続して指導をしていく。 <u>学校運営協議会総評</u> □たくさんの成功体験が子どもたちの自己肯定感を育てると思う。

